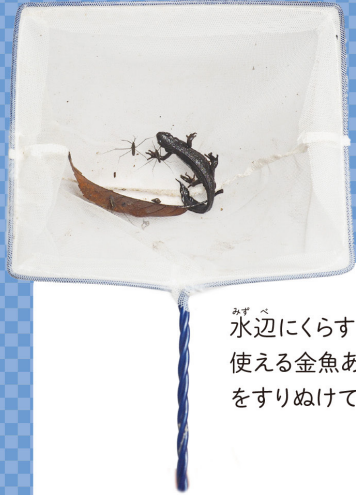


水辺で大かつやく！ 金魚あみ&おふろネット



水辺にくらすいろいろな生きものを採集するのに、片手で簡単に使える金魚あみは、とても便利。また、おふろネットを使えば、あみをすりぬけてしまうような小さな生きものも、採集できます。

道具



金魚あみ (小魚用の手あみ)

*あみの大きさや持ち手の長さにちがいががあるので、使いやすいものを選びましょう。



おふろネット (湯あか取りネット)

*おふろにうかぶゴミを取り除くためのネット。裏側にあるゴムをはじくと、採集した生きものが落ちる。



白色のバット

*採集した生きものをいったん入れ、見分けるために使う。白色だと生きものの姿がよくわかって便利。

水辺に出かけるときの約束

ぬれてもいい運動ぐつや長ぐつを必ずはきましょう (サンダルだと危険)。生きものがたくさんいる川や池はとても楽しい場所ですが、ころんでけがをしたり、おぼれたりする危険もあります。十分に注意して、必ず大人といっしょに行き、大きな川や湖沼などでは、ライフジャケットを必ず着るようにしましょう。また、雨が降ってきたら、急に水かさが増すことがあるので、すぐに水辺からはなれましょう。

金魚あみを持って近所の池や水たまりにいくと、水の中にすむたくさんの生きものたちと出会えるはず。おふろネットのパッチン機能も最高です！小さな生きものもバッチリ観察することができますよ。
(奥山)

採集のコツ



①金魚あみで、水辺の生きものをすくってみましょう。水底の落ち葉やどろもいっしょにすくうと、意外な生きものがとれることがあります。あみの中のもの、いったん白色のバットに移すと、見やすくなります。



②水中を泳いでいる小さな生きものは、おふろネットを使います。採集した生きものは、ゴムをはじいてバットに入れます。直接、水を入れたケースに入れてもいいです。

パッチン！

こんな生きものがとれたよ



アメンボ

アカハライモリ

シオカラトンボの幼虫 (ヤゴ)



オイカワ



ハイロゲンゴロウ



トノサマガエル

おふろネットで採集した 小さな生きもの



イトトンボのなかまの幼虫 (ヤゴ)
体長10mm



コムズシ
体長6mm



ミジンコのなかま
体長2mm

あみに生きものを追い込もう

あみをどんなに速く動かしても、すばやく泳ぐ生きものたちにはかきません。そんなときはあみを水中で固定し、そこに追い込む方法が効果的です。ミジンコのなかまの多くは、捕食者である魚のあまりいない池や田んぼに多く見られます。夜、水面にライトを照らすと光に集まってくるので、おふろネットで簡単に採集することができます。

◆自然を調べるプロのスゴ技にチャレンジ！ 特別配信版 (期間限定) / 少年写真新聞社『100円グッズと身近な道具でできる！ 博物館のプロのスゴ技で自然を調べよう ①発見と採集』小川誠・奥山清市・矢野真志 / 共著 (西日本自然誌系博物館ネットワーク) p.30-31より
※このシートは、非商業的な利用に限り使用を許諾します。 ©小川誠・奥山清市・矢野真志